スタジオセゾン代表取締役　浅野美多子さん

最高の演出でプロデュースをして生涯に残る写真を撮影

なでしこ力

浅野 美多子さん

成人式や結婚式、七五三など人生の大切な節目の写真を総合プロデュースし、クオリティーの高い思い出を渡す写真館「スタジオセゾン」（名古屋市中川区助光２）。一方でビル、団地、学校等、ゼネコンの建築物件の竣工写真や、大手企業の記録映像も手掛ける。代表取締役、浅野美多子さんに話を伺った。

スタジオセゾンの主な業務は建築写真関係、写真館業務、振袖等レンタル業務だが、「すべてに対し真摯に取り組み、お客様に最新で最高の品質での仕上がりを提供することが任務」と唱っている。

浅野さんは写真館業務について「各種記念日の写真を作成する場合、お客様の想い出創りにつながる夢を具現化するため、最高の演出で総合プロデュースをします」とキッパリ。記念写真の代表格･成人式のケースでは「振袖を一緒にそろえるところから始まりますが、２０歳という人生で一度しかない大切な記念を、ご家族をも含めたお客さまの想い入れをどう具現化するか、そのノウハウを持っています」。

振袖も格式有る本格友禅や古典からモダン、ポップなトレンドファッション振袖までメーカー、商社など幅広い取引先のパイプを持っている。振袖は展示しているだけで４００着。「お客様のビジョンを伺い、納得のコーディネート後、美しさを追求し続ける美容陣のプロと光を調合コントロールしながら、自然な表情を撮影するプロカメラマンが、それぞれの分野で熟連した技を連結して、お嬢様の品位、品格を輝かせ、人から見ても憧れの美しさを演出し、記念日の想い出として、生涯に残る写真をお渡しすることで終結に至るのです。その多彩な技術を持っている希少な存在が我が社」と浅野さん。スタッフは着付け専門の衣裳班４人、ヘアメークの美容班４人、カメラの撮影班５人の陣容。

浅野さんが写真館を始めたのは１９８４年。「写真業界の兄がここにスタジオを設けたのがきっかけ。私は３０代でポートレートやインテリアの写真を撮り、カメラ雑誌で入賞を重ねたのを機に、この道に入ることを選びました」。初めは訪れる方の入学式写真などを撮っていたが、師と仰ぐ実力派の写真家辻分作先生との出会いで本格ポートレートを極める道に進む。一方建築写真の世界では２０年前頃はネガをスキャンしてデジタル化した画像のドットを埋めての電線消し等の処理ができるようになり、デジタルの進化と共に社内でも技術力を進化し続けて今に至ることを誇りとしている。一方ネガ